

2022年度 Uzushio Beach Clean Project 活動報告書

【目的】

島内の高校生など若者が自然環境や海洋問題に関心を持ち、持続的にかつ自発的に問題解決に取り組むようになることを目的とする。

今回は、相手を打ち負かすスポーツではなく、思いやりを重視する「フレスコボール」というスポーツを実施し、スポーツに興味ある若者が、海が豊かな淡路島の自然環境で楽しみながら、渦潮のメカニズム、海ごみ問題について学び、いつの間にか自然環境や海洋問題に目を向け行動している状態を目指す。

● フレスコボールとは？

ブラジル発祥の思いやりのスポーツ。ラリーを長く続けたペアが勝つ、主にビーチで行うラケット競技。マイナー競技のため全国的に普及活動が盛んになっており、大会には日本全国から有力選手が集まる。2020年に明石を拠点としたクラブが発足し、80名を超えるメンバーがいる。2022年、淡路島のクラブが立ち上がり、メンバーを募集している。

【内容】

7/25	淡路島の塩づくり講演会 伊藤宏之先生 「古代の塩づくりから海の恵みを考える」	
8/21	古代の塩作り体験 土器作り	
9/16	蒼開高校 SDGs「海の豊かさを守ろう」学習 ①-1 うずしおクルーズ体験	
10/2	「ボールもゴミも見捨てない！フレスコボール体験会」 岩屋田ノ代海岸 ②	
10/12	蒼開高校 SDGs「海の豊かさを守ろう」学習 ①-2 海ゴミについて考える ビーチクリーン@大浜海岸	
10/15	古代の塩作り体験 土器焼き&灌水作り	
11/5	3海峡クリーンアップ大作戦@岩屋田ノ代海岸③	

【実施報告】

● ①:蒼開高校 SDGs「海の豊かさを守ろう」学習

1. 9月16日 うずしおクルーズ体験

蒼開高校のアスリートチーム49名がうずしおクルーズを体験した。

うずしおクルーズを体験する前に「渦の講義」を行い、今回の企画趣旨・目的や目標の共有をした。船上でコミュニケーションが取れるよう、また渦潮について疑問が沸いたら聞けるように、ガイドさ

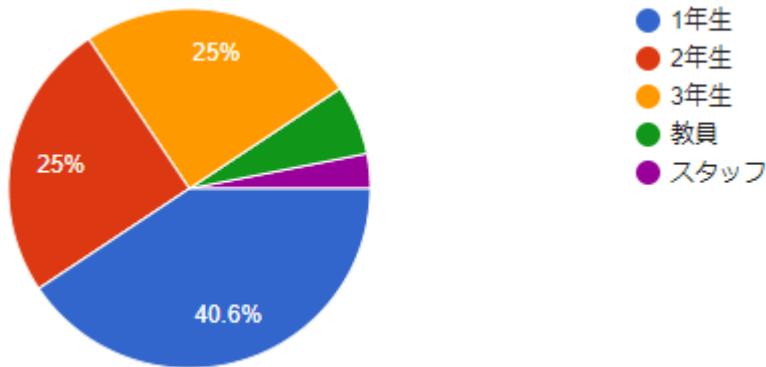
ん、うず潮を世界遺産にする会の山口さん、稲本さん、淡路ラボメンバーを紹介。その後、山口さんがうずしお博士に扮し、渦潮の世界的な価値やメカニズム、宇宙や地球上で見られるダイナミックな渦状の自然などを紹介した。



その後、うずしおクルーズを体験。この日は「おおうず」で一番うずの大きい時間帯だったこともあり、かなり大きな渦潮を見ることができた。また、メンバー紹介を事前にした甲斐もあり、船内で渦潮に関するさまざまな質問を交わす姿も見られ、理解を深めていた。



うずしおクルーズ体験後アンケート結果(回答者32名)



1.うず潮に関して、友達に話したいと思ったことを一つ教えてください(学んだことを教えてください)。

迫力があつた(13名)「実物で見ると迫力がすごい」「想像以上に大きく迫力がある」等
渦の仕組みを伝えたい(8名)「渦潮が巻く時の条件を教えたい」「黒潮が鍵である事」等
渦潮にダイブすると太平洋まで流される(2名)

ほか「自然が創り出す美しさを感じた」「すごく綺麗」

「渦は一つだけではなくて2つ3つとたくさんの渦で巻いていた」

2.うず潮に関して不思議に思ったことや、気づいたことを教えてください。

渦潮発生メカニズムをもっと知りたい(14名)

「しましまがなぜできるのか」「なぜ途中で渦潮が消えてしまうのか」

「橋の下だけに潮ができるのは何でか」「なぜ止まって見えるのか」

ほか「すごく神秘的で身近にはないすごいものだと思った。」

3.うず潮やビーチクリーンに関して、やってみたいことを教えてください。

ごみ拾い(16名)

「たくさんのゴミを拾って渦潮を世界に広げ世界遺産にしたい」

「ゴミを0にして色んなところから観光に来て欲しい」

「ボランティアでゴミをとり愉快的な海を見て世界遺産にしたいです。」

ほか「ゴミの量を計る」「プラゴミで何かを作る」

「たくさんの人に知ってもらおう」「ビーチを綺麗にして世界遺産に登録」 「様々な世代の人と交流する」「海の繋がり」

「うず潮エネルギー発電→今日見た迫力がすごかったので、何か水流のエネルギーにできるのでは?とまで感じた」

蒼開高校の生徒・教員あわせて32名のアンケート結果では、40%以上が渦潮が想像以上に迫力があつたと回答。また渦のメカニズムをもっと知りたいという意見も40%以上あつた。渦の美しさに感動したり、いくつもの渦が重なること不思議に思ったりと、クルーズ体験から自然の壮大さ、美しさを深く感じ取っている。

また、やってみたいことで50%の人が「ゴミを拾いたい」を上げており、海をきれいにしたいという気持ちが生まれていることがわかつた。

うずの講義とうずしおクルーズ体験により、渦潮に興味を持ち、ワクワクする気持ちを持ってもらい、淡路島の価値であることが十分伝わっていると考えられる。また主体的な海の保全活動への意欲も高まったと思う。

2. 10月12日 大浜海岸にてビーチクリーン&環境学習

10月12日、大浜海岸にて蒼開高校アスリートチームを対象に環境学習を行った。講師に淡路島のビーチクリーン団体AWAJI BLUE代表の柏木大樹さんをお招きした。

最初の導入では、なぜプラスチックゴミが問題なのかを考えた。マイクロプラスチックや、食物連鎖から人間の体内にも入ることを伝え、海の環境がいかに自分たちの生活に繋がるかを質問形式で考えていった。

その後は、実際に大浜海岸を清掃した。事前に別団体のビーチクリーンイベントがあったため、ゴミは少なかったものの、細かいプラスチックゴミが砂浜じゅうに落ちていた。生徒たちは作業をしながらゴミの分別方法を学んだり、ライター、たばこのフィルター、ペットボトル飲料などなんのゴミが多く見られるのか観察していた。

30分のビーチクリーンの後は、説明とディスカッションを行った。

ゴミは社会の在り方が変わらなければなくなることはない、その中で、どのような心構えでこの問題に取り組んでいくのか、という問いに、自分が出しているゴミの分くらいは日常的に拾いたい、普段の生活でゴミを意識して買い物をするなど、具体的にできる意見が挙がっていた。



- ②:10月2日開催 フレスコボール体験会

10月2日に、下記を目的としてフレスコボール体験会を実施した。

- ①三海峡クリーンアップへの意欲向上と渦潮に対する愛着の醸成
- ②フレスコボール協会の方々と淡路ラボ、ほか関係者の交流の機会を持つ
- ③11月5日のクリーンアップ当日に向け、会場である田ノ代海岸の下見(フレスコボールをするときに最大何名が打ち合いきそうか、駐車場利用、トイレの場所など)
- ④11月5日の告知用写真撮影

運営も含め17名がクリーンアップとフレスコボール体験会に参加した。大学生、子供、身体障害を持った方など、世代もこえたさまざまなメンバーが集まった。

10時に集合し、最初にイベント開催の目的説明と、岩屋ビーチのビーチクリーンを行った。ペットボトルや細かなプラスチックゴミが多く落ちていたので、30分ほどで計3袋の海ゴミを回収した。スポーツ体験会前に使用する砂浜のごみ拾いはイベントへのモチベーションアップにつながり、またその後のフレスコボールも裸足でも快適に楽しめたので、スポーツ×ビーチクリーンを組み合わせるのは一石二鳥の効果があると考えられる。

その後、フレスコボール体験会を実施した。テニスのような勝負ではなく、相手と長く打ち合いを続ける思いやりのスポーツなので自然と「ありがとう!」「ナイス!」などの声かけが生まれ、車椅子の方も一緒に楽しむ情景も見られた。BGMを流しながらのラリーはテンポよく子どもや若者も楽しめるしかけになっていた。

ゴミは事務局で持ち帰って燃えるゴミを処分した。今回はゴミの数が少なかったため処理できたが、自主的にビーチクリーンを行った後のゴミ処理方法が課題だと思う。



左: SNSでの告知を実施 右: 当日会場の様子をSNSで配信

● ③:11月5日開催 3海峡クリーンアップ大作戦

11/5(土)の3海峡クリーンアップに、新たな層を呼び込むため、フレスコボール協会とのタイアップイベントを企画。フレスコボール体験会をクリーンアップ終了後に行うことにした。また、淡路島のフレスコボールメンバーを増やす目的で、同日の午後にフレスコボールフェスタも開催した。

集客面では、独自のフライヤーを制作し配布、淡路ラボでのSNS配信も行い、告知に力を入れた。

2022 11/5 SAT START 10:00

参加費無料!

新感覚スポーツ!

フレスコボール体験会

会場：淡路市岩屋ビーチ

～ 3海峡クリーンアップ大作戦とタイアップ企画～

ボールもゴミも見捨てない、クリーンアップした綺麗なビーチで、思いやりあふれるスポーツを体験しませんか?

フレスコボールとは?

ラリーを多くつけたペアが勝ち。5歳から80歳までできる思いやりあふれるスポーツです。

ご本人に必ずお読み!

Check 持ち物かまいたい?
Check 当日の予定を確認したい?
Check ヒールシューズに慣れがある?
Check スポーツで新たな変化がほしい?

フレスコボールをもっと盛り上げよう!

日本フレスコボール協会 Instagram & Twitter
→ #rescoballjapan
フレスコボール協会関西 Instagram
→ #resco_westjapan
日本フレスコボール協会
→ #rescoballjapan

イベントスケジュール

09:00 - 10:00 クリーンアップ
10:00 - 11:30 クリーンアップ
11:30 - 12:00 フレスコボール体験会
12:00 - 13:00 フレスコボール体験会
13:00 - 14:00 フレスコボール体験会
14:00 - 16:30 フレスコボール体験会

会場周辺のご案内

淡路市岩屋ビーチから徒歩5分、公共交通機関はなし。駐車場は無料。雨天時は会場を変更いたします。

お問い合わせ

淡路市環境課 環境対策課 担当: 山本 貴之 (079-231-1111)

オリジナルのチラシを配布してイベント集客をした。SNSでも発信を行った。

3海峡ビーチクリーンでは、蒼開高校のアスリートチームのメンバーが活躍。足元が不安定な岩場を中心に、間に挟まっているゴミを拾いだしたり、小高いところにある大きなゴミを出したりと、なかなか一般の人が躊躇するような箇所の掃除も積極的に行っていた。また、年齢層の若いフレスコボール協会の方々もビーチクリーンに参加した。



ビーチクリーンの後、フレスコボール体験会を行った。クリーンアップ終了直後に、受付から見える位置でフレスコボーラーがラリーをしたり、蒼開高校の生徒が広告塔となって集客を行った。蒼開高校の生徒がフレスコボールを楽しみにしていたこともあり、多数で参加してくれた。フレスコボール協会も、淡路フレスコボール協会/関西フレスコボール協会/四国フレスコボール協会など、多方面から参加。子どもから高齢者まで合わせて約100名がフレスコボール体験を楽しんだ。

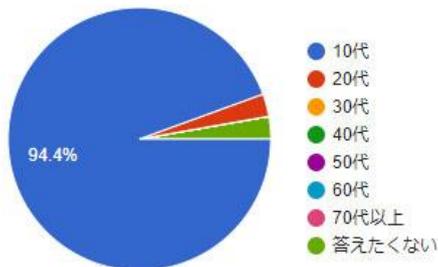




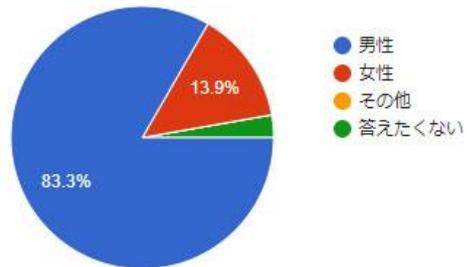
開催した様子もSNSで発信した

3海峽クリーンアップ大作戦&フレスコボール体験会アンケート結果(回答者36名)

1.年代を教えてください。

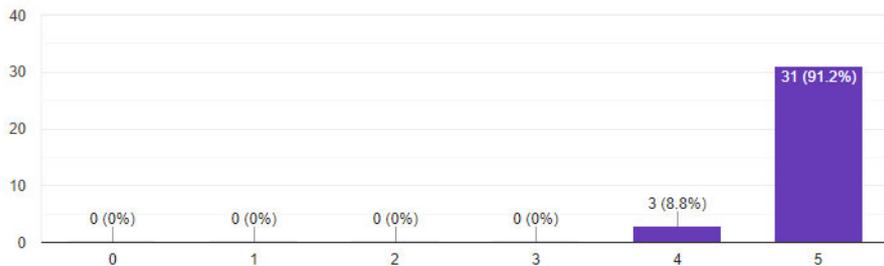


2.性別を教えてください。



3.ビーチクリーン体験の満足度はどのくらいですか？(ビーチクリーンに参加した人のみ)

34件の回答



4.上記の理由を述べてください。(ビーチクリーンに参加した人のみ)(32名回答)

綺麗になって気持ちが良い、達成感を感じた(15名)

「浜が綺麗になって心も綺麗になった気持ちになった」

多くの人とできて充実していた(5名)

「様々な年代の方たちと交流しながらビーチクリーンができたから」

5.ビーチクリーンの感想を教えてください。

楽しかった(8名)

予想以上にゴミがあった(7名)

「ゴミを拾っていく中でペットボトルが一番多く感じました。なので自分自身も日常生活でゴミが落ちていたら拾ったり自分からゴミ箱に入れるなど小さいことからしてみようと思いました」

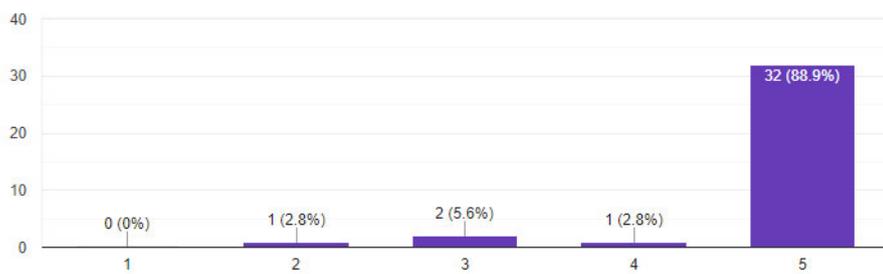
「一人一人が日常でゴミを拾う事を意識していきたいと思います！」

「ひとつの目標に向かって全員でゴミを拾うのが楽しかった」

「大勢の人たちで広い範囲の浜を綺麗にできてよかったです。また参加したいです！」

6.フレスコボール体験会の満足度を教えてください。(フレスコボール体験会に参加した人のみ)

36件の回答



7.上記の理由を教えてください。(フレスコボール体験会参加の人のみ)

楽しかった(16名)「初めて体験し、とてもいい経験になって楽しかった」

ほか「プロの人に教えて貰って凄く分かりやすく今日の短時間だったけどその時間で楽しめて上手くなったなと思った」

「プロの人とフレスコボールをして270回ラリーできました。」

8.フレスコボール体験会の感想を教えてください。(フレスコボール体験会参加の人のみ)

難しかったけど楽しかった(20名)

「協力のスポーツでたのしかった」

ほか「初めてやったけど成長できて良き経験でした」

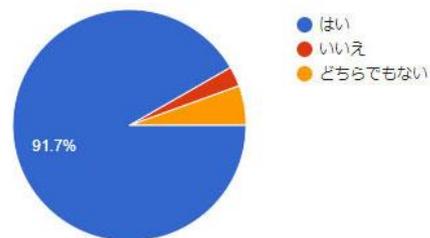
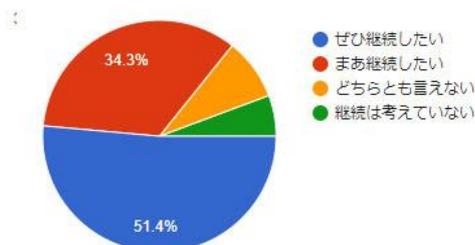
「仲間と協力して繋ぐのがとてもうれしかった。」

「思いやりの精神がとても見えるスポーツでした」

「相手に対して思いやりを持たないといけないので、距離が縮まったきがしました。」

9.フレスコボールをこれからも継続したいと思いますか。

12.来年度も、ビーチクリーン後にフレスコボール体験会があれば、参加したいと思いますか？



11.ビーチクリーンとビーチスポーツ(フレスコボール)の関連性について、気づいたことがあれば教えてください。

ゴミがあると危ない(7名) 砂浜を綺麗にしたら気持ちよくなる(7名)

「裸足でやるからゴミが落ちていたら危ない。」

「海が綺麗になったら気持ちよくビーチでスポーツができる」

一人一人の思いやりが大切(3名)

みんなで楽しくできて繋がれる(2名)

アンケート回答者は95%が10代となり、高校生・大学生がほとんどであった。蒼開高校のアスリートチームや野球チームなどスポーツに関わる若者が多かったと思われる。

ビーチクリーン、フレスコボール体験の満足度は80%以上が最評価の5となっており、かなり高かった。

ビーチクリーン×フレスコボールを体験して、関連性・気づきがあった人は60%近くにのぼった。砂浜でスポーツを楽しむことは楽しい⇒海や砂浜が綺麗になったら気持ちよくスポーツできる と海を綺麗にすることに意識が向いた人が40%もいた。

【今年度の活動でわかったこと】

高校生を対象に、うずの講義で渦潮について学び、クルーズ体験でメカニズムを理解しつつ体感してもらったところ、渦潮に興味をもち、淡路島の価値と感じてもらうことができた。

また、自然と海の環境を保全したいという気持ちが生まれ、主体的に清掃活動に関わってもらうことができた。

さらに、自分たちの得意なスポーツの分野と掛け合わせることで、楽しみながらイベントに関わってもらえた。

このことから、次の2つのことが言えると思う。

高校生が、渦潮の迫力を体で感じ、メカニズムを知り、それが豊かな海を作り出していることを理解すると、渦潮の価値が十分伝わり、大切にしたい気持ちが生まれる。

高校生が関心のあるテーマと海の保全活動と掛け合わせることで、わくわくした気持ちを持って楽しみながら、かつ主体的に保全活動に関わることができる。

このことから来年度は、高校生がわくわくするようなテーマと渦潮を掛け合わせることで、若い人たちが自ら主体的に関わるしくみを提案したい。

また、伊藤宏之先生「古代の塩づくりから海の恵みを考える」講演会に始まり、古代の方法による本格的な塩作り体験(土器作り～土器焼き、灌水作り、当日のワークショップ)を体験し、淡路島の有識者の方々の智慧が凝縮されていると感じた。



渦潮のプロジェクトに関わる地元の方々にお話を伺うと、淡路島の歴史と文化、地質学、地球温暖化など環境問題に関する知識、海の環境に関する知識や経験が積み重ねられており、これらのことを次世代に継承・発展させていくことは極めて重要だと思う。次年度はこれらの智慧・経験が次世代に引き継いでいく仕組みも提案したい。